
「科研費」の最近の動向

Reorganization of KAKENHI: Current Activities of JSPS

世話人：原田慶恵（大阪大学蛋白質研究所，日本学術振興会学術研究システム研究センター専門研究員）

Organizer: Yoshie Harada (Institute for Protein Research, Osaka University; Program Officer, Research Center for Science Systems, JSPS)

日時：9月17日（月・祝）11:45 - 12:35（ランチオンセミナーの時間帯）

会場：B会場（一般教育棟 A21）

言語：日本語

昼食：お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし，数に限りがあります。

形式：日本語による講演会

講師：日本学術振興会 研究助成企画課長代理 坂本 真梨子

今，日本が将来にわたって卓越した研究成果を持続的に生み出し続け，世界の中で存在感を保持できるかが問われています。こうした中，科学技術・学術審議会において，学術研究への現代的要請として，「挑戦性・総合性・融合性・国際性」の四つを挙げ，科研費制度の抜本的改革が提言されました。これを踏まえ，文部科学省では「科研費改革の実施方針」を策定し，科研費の研究種目・枠組みの見直しや審査システムの見直し（「審査システム改革 2018」）が行われ，平成 30 年度科研費（平成 29 年 9 月公募）において，新たな審査システムによる審査を実施しました。今回は，このシステム改革の内容を中心に，その他の改善や充実を図った点等について，ご説明をいただきます。